

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月01日

計画の名称	吉田町地域住宅等整備計画（地域住宅計画）												
計画の期間	平成31年度～平成34年度（4年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	吉田町												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・既存ストックを有効に活用し、快適で住みやすい居住空間を実現する。 ・少子高齢化に対応した、安全でゆとりある住まいを実現する。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	64	A	64	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	住宅の居住性を向上した公営住宅の供給棟数 吉田町内における居住性を向上した町営住宅の棟数	0棟	棟	2棟

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 町内部にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年6月
	公表の方法 町のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・長寿命化計画に基づき、町営住宅の居住性改善工事を実施した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
・新たに策定した長寿命化計画に基づく改善事業を実施し、少子高齢化に対応した快適で住みやすい住環境を実現する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	吉田町内における居住性を向上した町営住宅の棟数	
	最終目標値	2棟
	最終実績値	2棟